

壁補強リフォームキット



取付業者さまへ

● 取付けの際は、必ずこの説明書の沿って正しく取付けてください。

※説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品保証の対象外となりますので十分ご注意ください。

■ 付属品

付属部品と内容と数量が合っていることを確認してください。

品番	BB-RKM-AR178(2)	BB-RKM-AR190(2)	BB-RKM-AR190(3)
部品名			
本体 (H=820mm)	2本	—	—
本体 (H=940mm)	—	2本	3本
仮固定金具	2個	2個	2個
トラスタピンねじ φ4X50	12本	12本	18本
低頭小ねじ M4X12	2本	2本	2本

取付け前の確認

取付動画はこちらから ⇒

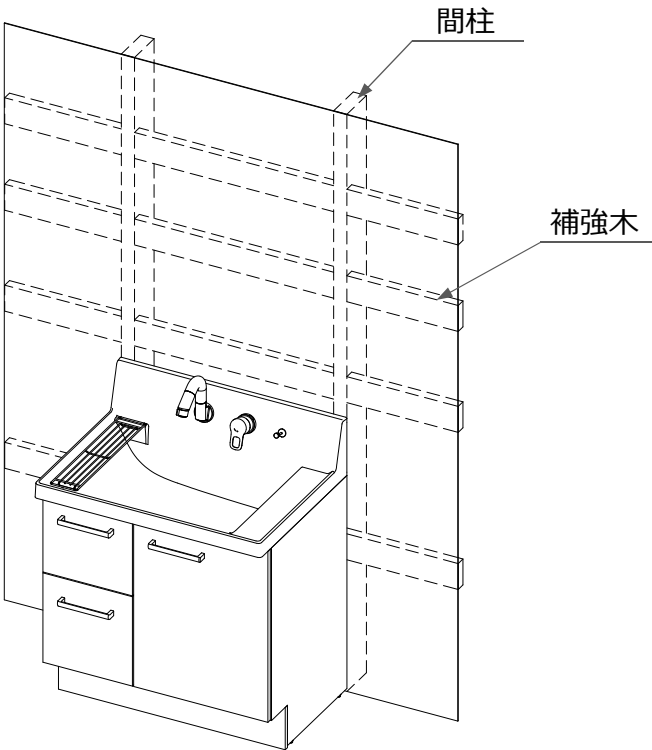


補強木位置の確認

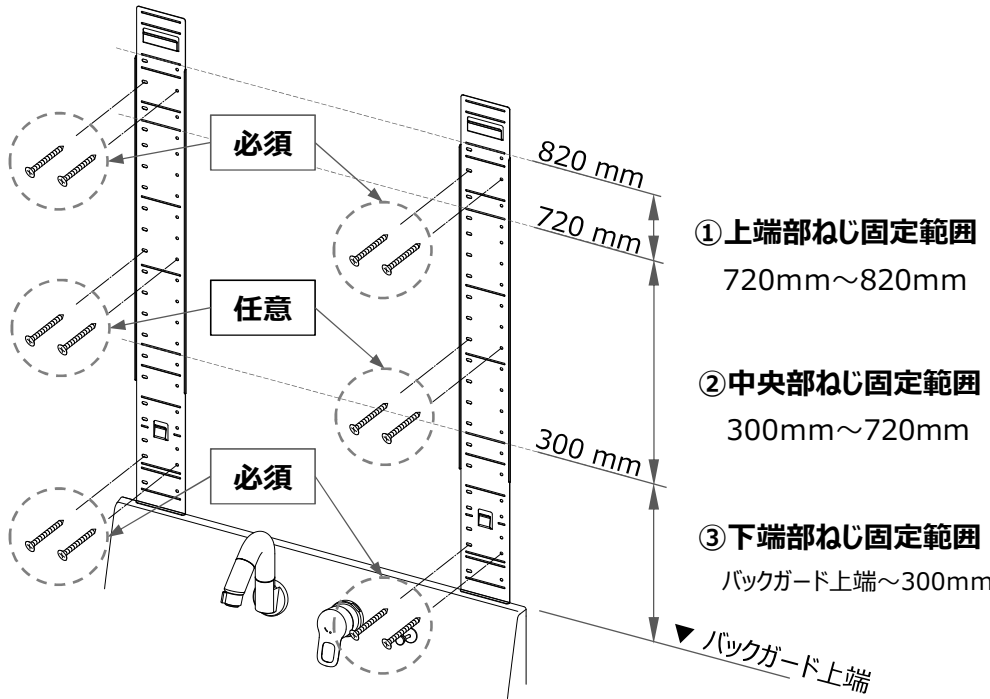
市販のプッシュ式針・壁裏センサーなどで間柱・胴縁・補強木の位置を確認してください。

ねじ固定が可能な範囲の確認

壁補強リフォームキット本体のねじ固定が下図の範囲内で可能か確認してください。



- ①および③の範囲内で必ず1カ所ねじ固定してください。
- ※ ねじは1カ所につき2個使用します。本体1本につき最少でねじ4本を使用。（最大6本）
- ②の範囲は任意です。補強木がある場合はねじ固定してください。



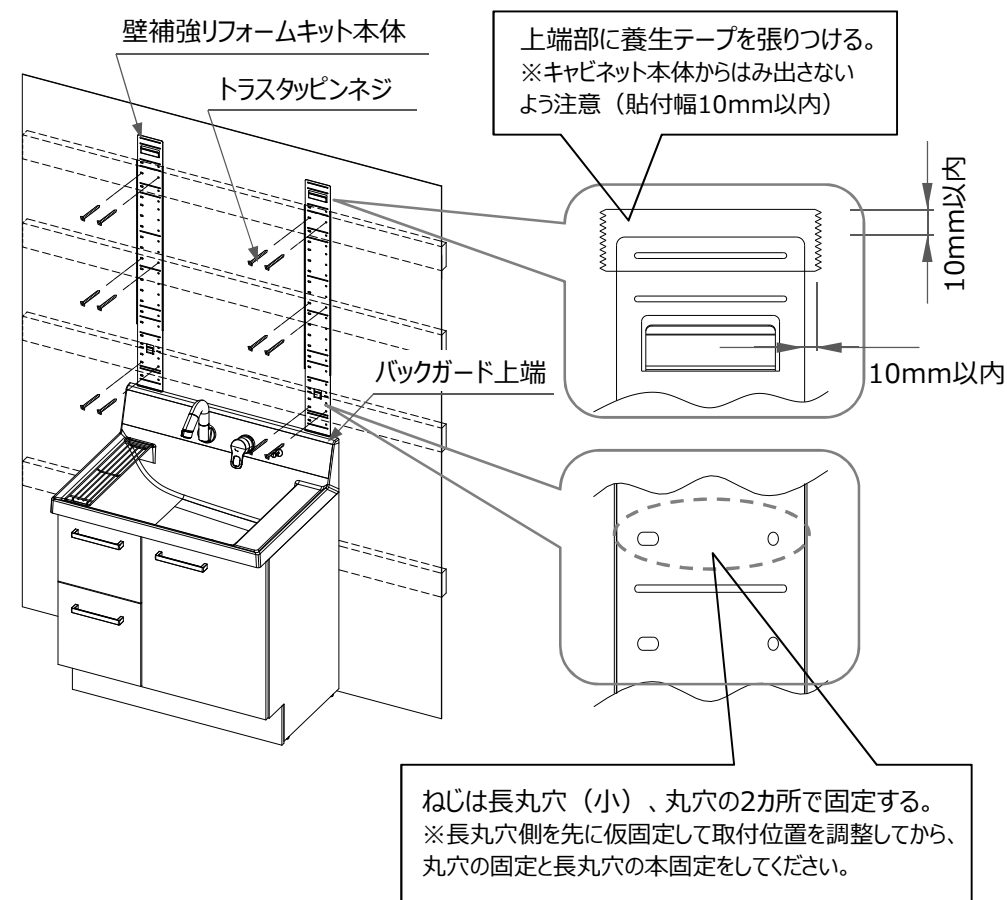
⚠ 注意

- 必ず間柱・胴縁・補強木の位置を確認し、いずれかに固定してください。
- ※ 壁の仕上げ材だけでは取付強度が不十分となり、キャビネットが脱落してケガをする恐れがあります。
- 壁補強リフォームキットのねじ固定は指定の範囲内で行ってください。
- ※ ねじ固定の範囲内に補強木等がない場合は、取付け強度が不十分となり、キャビネットが脱落してケガをする恐れがあります。

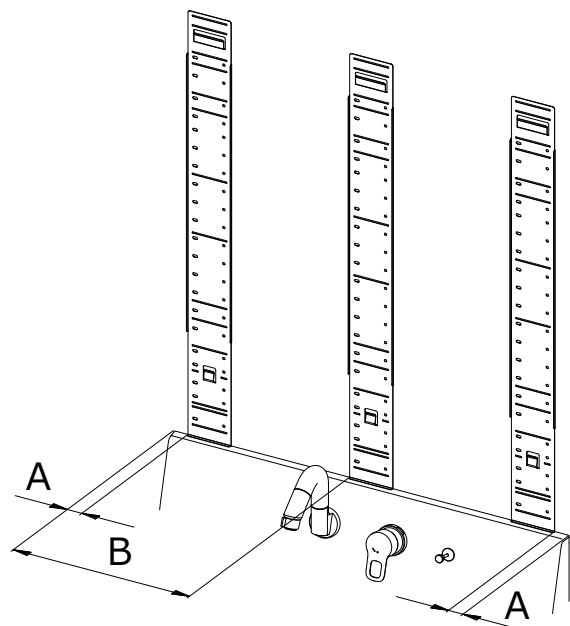
取付方法

1) 壁補強リフォームキット本体の取付け

- ① 壁補強リフォームキットを化粧台バックガード上端に位置を合わせて（下表参照）、間柱・胴縁・補強木の位置にねじ（トラスタッピンねじ φ4X50mm）で固定する。
- ② 上端部に養生テープを張り付けて、天面のすき間をふさぐ。



● 壁補強リフォームキット取付位置



間口	タイプ	A寸法	B寸法
W500	1面鏡	30	中央部には 使用しません
W600	1面鏡		
W600	2面鏡		
W750	1面鏡	32	390
W750	3面鏡		
W900	3面鏡	30	

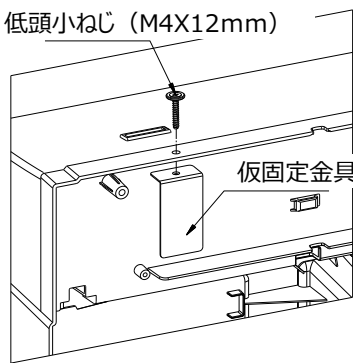
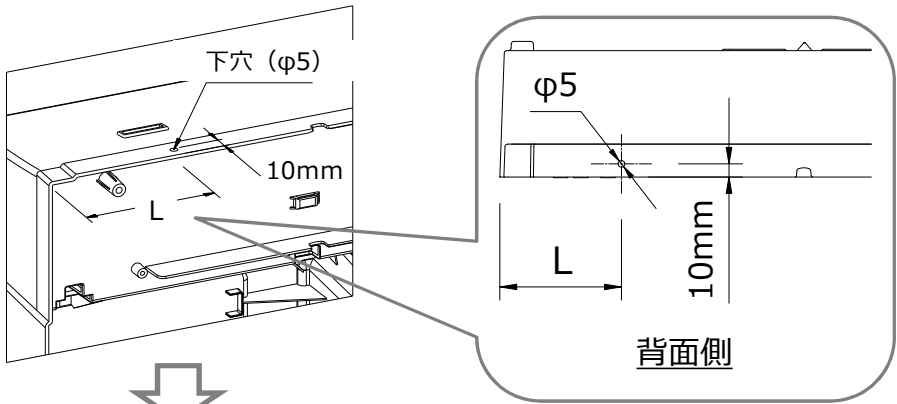
⚠ 注意

- 直結配線タイプのミラーキャビネットを取付ける場合で、建築側の電源線の取出し位置が重なる場合は、取出位置が重ならないようずらしてください。

【任意】仮固定金具の取付け

- ・仮固定金具を使用することで、ミラーキャビネットを壁に設置する際、仮設置ができます。仮固定金具は使用しなくてもキャビネットの設置は可能です。
- ・仮固定金具を使用する場合はミラーキャビネット上部に20mm以上の空間が必要です。空間が確保できない場合は、仮固定金具は使用できません。

- ③ ミラーキャビネット本体天面部に下穴（φ5 x 左右2カ所）を開け、仮固定金具の裏面とミラーキャビネット背面部を合わせてキャビネット上面から低頭小ねじ（M4X12mm）で固定する。



仮固定金具設置位置（下穴位置）

間口	タイプ	L寸法
W500	1面鏡	60
W600	1面鏡	90
W600	2面鏡	
W750	1面鏡	112
W750	3面鏡	
W900	3面鏡	

※取付位置は左右対称です。

⚠ 注意

- 仮固定金具を取り付ける際にキャビネットが傷付かないよう、梱包材などで養生をしながら作業してください。

2) ミラーキャビネットの取付け

- ④ 仮固定金具を受け部に差込むようにミラーキャビネットを上からスライドさせて壁に設置する。
- ⑤ ミラーキャビネットに付属のねじでキャビネットを壁に固定する。

<3面鏡（スマートポケット付き）の場合>

壁補強リフォームキットを取付けた場合、スマートポケット引掛け金具を取り付ける必要はありません。

